



イモイモ・ケムケム★星になれー!

苦手な人は見ない方が良いぞー!

新緑の候、この季節になるとイモイモ・ケムケム(イモムシとケムシのこと)が大発生する。それをエサとした野鳥の子育て(繁殖)の季節となり、自然界の食物連鎖が成り立っている。が、全てのイモ・ケムを鳥が食べてはくれない。中には毒で身を守るヤツもいる。M副長は、ビーバースカウトぐらいの頃、近所の「かてしの木(九州での山椿の木の別名)」で木登りをしていたら首元から背中にかけて「チャドクガ」に刺され赤くはれ上がり痛痒感と発熱で眠れなかった。それはそれはひどい目に合い、今では「トラウマ」になって、ケムシはもとよりイモムシを苦手になってしまった。驚くことに我が家の両親の治療法は、親父が晩酌している芋焼酎を塗ってくれただけだった(かなりワイルドな親である)。でも、自分は焼酎の匂いは臭かったが、スー・スーして気持ちよかったことを記憶している。そのことで、イモ・ケムの殺気(気配か?)を感じるようになり、今ではシャリシャリと葉っぱを食べている音まで聞こえる(ような気がするだけか?)ようになった。なぜ、こんなネタになったかという、2週間前から牛久駅西口のM副長やボーイ隊長が、一服(一イ)y-〇〇〇しているところのドウタンツツジに、ケムケムが発生している。数ミリであったが日に日に巨大化(成長)して来ている。殺虫剤で撃退する手もあるが、自分の敷地じゃないので、静か(我慢して)に見守っていた。6/10にボーイ隊長からメールが来た。「本日は、ワシは有給消化日です。特に何もやることはないんだけどね」チャンス到来である。さっそく返信。おはようございます。牛久駅のいつも煙草を燻らす所の、ドウタンツツジにいるケムケムが段々大きくなってきました。かなりの殺気を感じます。殺虫剤を持って来て「Go To Heaven!」か?鳥肌を立てながらネットで調べたところ、こやつは、「ヒメシロモンドクガ」か?我が家の、玄関のヤマボウシに付く巨大なイモイモは「オオミズアオ」か? *今のところ発生は確認できない。これからの季節は、予断を許せない。誰かがM副長を狙っている! なにもやることがなかったら、『ボーイ隊長の庭の外通信』の取組みで、ケムケムを退治してください。作戦名「hairy caterpillar's! Go To Heaven!」と依頼したのであった。毒ケムは毒針毛を持ち、触れただけでかぶれを生じる。気が付いたら触らずにガムテープなどを貼って毒針毛を除去し、流水で時間をかけて洗い流して、ステロイド・抗ヒスタミン薬軟膏などを塗る。ウナコーワなどの塗り薬は刺激が強く悪化させることがあるそうだ。じゃ、芋焼酎での手当ては間違いか!? それで悪化したのでは?! *トラウマ(心的外傷)とは、外的内的要因による衝撃的な肉体的、精神的ショックを受けた事で、長い間心の傷となってしまうことを指す。外傷体験(traumatic experience)ともいう。おそらくボーイスカウト業界でも、イモ・ケムについてこれだけ語れるリーダーは他にはいないだろう。

最近、ボーイ隊長との掛け合い漫才になって来たぞ。

M副長新聞



2009.6.17
第38号

私は
チーム・マイナス6%です



全世界で人気らしいが、ダメだ! こいつも気持ち悪い。



これより先『DANGER!』

イモ・ケムの苦手な人はこれ以上進まないほうが良いぞー! でも、怖い物見たさでみんな見るんだろうなー。
*なお、トラウマになったり、気持ち悪くなくても当方は一切関知しないのだ。苦情も受け付けない。

今回は、鳥肌もので寒気を堪えながらの作成である。
野外活動の際に役立ててもらえれば幸いだ。



成虫

【チャドクガ】

M副長がトラウマになった原因のケム・ケムである。



成虫

【ヒメシロモンドクガ】

牛久駅にいるのケム・ケムである。地獄の処刑隊長からのメール。「要請により、牛久駅前に出動しました。早速一匹発見、白日のもとに引き出し(下写真)、ただちに鉄槌を下しました。しかし、小物であった。某国のゲリラの大物は陰に隠れているのか?」「hairy caterpillar's! Go To Heaven!」*注意! この行為は、害虫駆除にあたり、動物虐待ではありません!



ボーイ隊長から送られてきた写真。たいぶ被写体が小さいぞ! アゲハチョウのイモムシはアップで撮影されているのだが、物好きでも、ケムケムは不得意だと思われる。実際は、確認しているだけでも、あと16匹以上は生存している。やはり、「クリーンボランティア」のおじさんをお願いしてみよう。



うえ———！いつ見ても気持ち悪る———！。



成虫

ボーイ隊長からは、「オオミズアオは、美しい蛾ですから大事にせねば。(んなワケないよね)」と連絡があったので、こんど出たら捕獲して玄関先に置いてくることにしよう。

【オオミズアオ】

ここ2年、自宅の入り口脇にあるヤマボウシの樹に、こいつは発生する。でっかい丸い緑色のフンが落ちていたので、「出やがったな！」と分かるが、葉っぱと同じ緑色なのでどこにいるか見つけにくい。たまに仲間は、スズメバチに拉致されているようである。こいつは、成長すると9cmにもなり、かなりおっかないぞー！ * 毒はないようである。



これは、かなり強烈で気絶しそうだ！



成虫

【ルリタテハ】

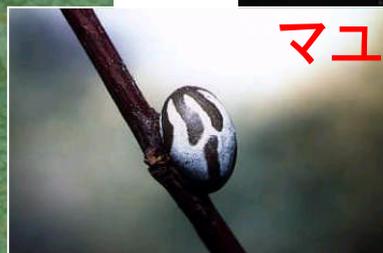
これは、花壇の山百合の葉に付いていたヤツ。なんか、ウミウシみたいだ。かなり派手だが毒性はないようだ。(未確認)



こいつには、子供のころ刺されたことがある。



成虫



マユ

【イラガ】

柿ノ木やバラ科の樹木に付く。去年は、刈谷自治会館のサルスベリで発見して駆除した。これに刺されると、いや、チョット体に触れただけで、電気ショック(電撃的)な痛みが走る。地方により「電気虫」と呼ばれているようだ。M副長は、「オオミズアオ」は、この「イラガ」が巨大化したものだと思っていた。

今回は命がけの作成となった。今晚、悪い夢を見そうだ！